

甲 第 号

塩崎 智之 学位請求論文

審 査 要 旨

奈 良 県 立 医 科 大 学

## 論文審査の要旨及び担当者

	委員長	教授	城戸 顕
論文審査担当者	委員	教授	桐田忠昭
	委員(指導教員)	教授	北原 糺

主論文

Effects of Vestibular Rehabilitation on Physical Activity and Subjective Dizziness in Patients With Chronic Peripheral Vestibular Disorders: A Six-Month Randomized Trial

慢性期末梢前庭障害に対する前庭リハビリテーションの身体活動量と主観的なめまい感に対する効果：6 カ月間のランダム化比較試験

Tomoyuki Shiozaki, Taeko Ito, Yoshiro Wada, Toshiaki Yamanaka, Tadashi Kitahara

Frontiers in Neurology 2021 Apr 29;12:656157

## 論文審査の要旨

末梢前庭障害ではめまいやふらつきが長期間持続し、生活の質の低下をみるとともに、めまいが生じる動作に対しての不安感から活動性が低下し、結果として前庭代償が進行せずめまいが改善しないという悪循環を呈しうる。本研究は理学療法士監督下の前庭リハビリテーションが主観的なめまい感及び日常生活における身体活動量に与える影響に着目しランダム化比較試験を行なった。患者は前庭リハ群（25例）と対照群（22例）に無作為に振り分けられ、介入期間は6カ月とし、実施前と実施後にめまいによる日常生活障害度アンケートを実施した。介入期間中は両群ともに加速度計を装着し身体活動量を記録した。主観的なめまい感は両群ともに有意な改善を認めたが活動性の障害、視覚や頭位変化によるめまいの増悪、身体行動の制限の項目で前庭リハ群の改善効果が高かった。日常生活における身体活動量の変化では介入6カ月後に前庭リハ群のみ軽強度の身体活動量の有意な増加を認めた。主観的なめまい感と身体活動量の変化の関係では前庭リハ群でのみ介入後2カ月での軽強度身体活動量の増加と介入前後の主観的なめまい感の改善の間に有意な相関がみられた。本結果より理学療法士の監督下での前庭リハビリテーションは生活指導のみの介入と比べて主観的なめまい感を軽減し、日常生活における身体活動量を増加させることが示唆された。公聴会ではいわゆる「リハのバイアス」、機能改善の機序、障害の病態に応じた治療訓練の違い、予防医学としての応用の質問に対し適切に回答された。本研究は、耳鼻咽喉・頭頸部機能制御医学領域における重要な知見であり、その発展につながる有意義な臨床研究であると評価され、博士(医学)の学位に値すると考える。

## 参 考 論 文

1. What diagnosis should we make for long-lasting vertiginous sensation after acute peripheral vertigo?  
Shiozaki T, Sakagami M, Ito T, Ota I, Wada Y, Kitahara T. *Acta Otolaryngol.* 2020;140(12):1001-6.
2. Changes in the Results of the Subjective Visual Vertical Test After Endolymphatic Sac Drainage for Intractable Meniere's Disease.  
Shiozaki T, Wada Y, Ito T, Yamanaka T, Kitahara T. *J Int Adv Otol.* 2021;17(2):121-6.
3. Patients with vertigo/dizziness of unknown origin during follow-ups by general otolaryngologists at outpatient town clinic.  
Nishikawa D, Wada Y, Shiozaki T, Shugyo M, Ito T, Ota I, et al. *Auris Nasus Larynx.* 2021;48(3):400-407.
4. Vestibulo-Ocular Reflex Is Modulated by Noisy Galvanic Vestibular Stimulation.  
Matsugi A, Shiozaki T, Tanaka H. *Front Neurol.* 2022;13:826739.
5. Results of subjective visual vertical tests in patients with vertigo/dizziness.  
Sakagami M, Wada Y, Shiozaki T, Ota I, Kitahara T. *Auris Nasus Larynx.* 2022;49(3):342-346.

6. めまい検査入院患者の疾患別日常生活障害度と精神心理状態

塩崎智之, 伊藤妙子, 和田佳郎, 山中敏彰, 北原紘. *Equilibrium Research*. 2019;

78(2):86-92

以上、主論文に報告された研究成績は、参考論文とともに耳鼻咽喉・頭頸部機能制御医学の進歩に寄与するところが大きいと認める。

令和5年3月7日

学位審査委員長

リハビリテーション医学

教授 城戸 顕

学位審査委員

口腔・顎顔面機能制御医学

教授 桐田忠昭

学位審査委員(指導教員)

耳鼻咽喉・頭頸部機能制御医学

教授 北原 紘